



来週が卒業式

3年生にとって、最後の授業、最後の委員会、最後の…と、3月に入り日々取り組んでいる活動に「最後の」という冠がつくようになり、時間の流れが止まって欲しいと思う時期になりました。

卒業式に向けて、全校で歌う「HEIWA の鐘」ですが、週1回の音楽の授業等を最大限利用して練習しています。本日の合同朝の会でも、練習しました。



声をそろえて一つの歌を歌うことって、人生の中でそう多くはありません。なので、学生時代に声を枯らして歌った校歌や、ハーモニーがそろった合唱などは、大人になった今でも大切な思い出で「人生の応援歌」になっています。

さて、この「HEIWA の鐘」は、沖縄出身のシンガーソングライター仲里幸広の曲で、2000年の沖縄サミットで紹介され、今では全国の学校で合唱曲として歌われています。仲里さんは、かつての琉球王国が武器に頼らないで各国と交易を行い栄えたとして、「平和の心を持った先祖から受け継ぎ、今の沖縄があると伝えたかった」との思いで、歌詞を書いたそうです。



本日の6時間目は、全校で体育館に入り、位置の確認と共に歌の練習も行いました。いろんな思いをつめこみながら、だんだん歌声に力がみなぎり、良くなってきました。この歌が、誰かの心に響いて伝わるよう、期待しています。



名司会の中学生現る

先月の23日(日)に倉敷市青少年健全育成推進大会がライフパーク倉敷の大ホールで行われました。倉敷市全体の「育てる会」を推進している大会です。来賓で倉敷市長や教育長も来られている会場の右側最前列に、黒崎中の **名司会者** を見つけました。会場一杯の参加者の中で、この会の司会者として役割を果たしました。主催者や参加した方々から「とても落ち着いた話し方で、素晴らしい司会でした」と賞賛されました。また、この会のオープニングに昨年卒業された **名演奏者** のエレクトーン演奏があり、会場を魅了しました。黒崎中の活躍すごいです！



令和6年度 黒崎中学校区青少年を育てる会

つなごう！育成の輪 5月

五月に総会を開き、令和5年度事業・決算報告と令和6年度の事業計画・予算の協議を行いました。各地区で小・中学生の人数が減る中、育てる会の事業をどのように存続させているかなども検討されました。黒崎中が工区の青少年健全育成について、地域が一体となって取り組んでいくことを確認しました。

みんなで守る沙美海岸の夜 7月

本会では夏休み中に、沙美海岸を中心に夜間清掃を行っています。最近では、午後7時～8時の間にはほとんど人がいない状態になっています。しかし砂浜の北側には背の丈を超える防砂林などもあり、人気の無い所も気をつけて見廻りをしています。また、海水浴客等のゴミが散乱している事もあり、ゴミ拾いも同時に行っており、環境美化にも動いています。今年度は、7月22日(土)に実施しました。約200人が参加して夜間清掃を行いました。何事もなく、ゴミ拾いがメインとなり、ほっとしています。

活動の足跡、歴史の証「黒崎青少年」

毎年2回、「黒崎青少年」という機関紙を発行しています。今年で第135号の発行となりました。一年間に行った育てる会の活動や、地域の方々に参加していただいた行事に対する感想文を掲載しています。黒崎中学校区の歴史がわかる資料となっています。

10月 みんなでつくる笑顔の輪

三世代でチームを組むボッチャ大会と地区対抗の玉入れを行いました。また、パン食い競争などレクリエーションの色合いもだし、おじいちゃん・おばあちゃんから幼稚園児まで総勢130名で協力して、親睦を深めることができました。

1月 みんなの力で伝える伝統の輪

立志式の記念行事として、もちつき大会を行いました。育てる会や地域の方々約25名が参加してください。おもちのつき方や丸め方を指導しました。自分で、おもちをついたことがない生徒がほとんどですが、出来立てのおもちを砂糖醤油ときなこをつけて全校生徒でおいしくいただきました。